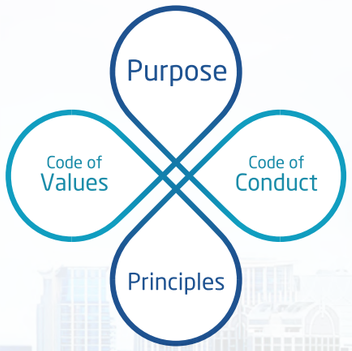
\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる
持続可能な社会の実現を目指します。

NEC Wayの実践を通して社会価値を創造していく

NECは創業以来、それぞれの時代ごとに自らの在り方を示し、
社会に価値を提供することに努めてきました。
私たちはイノベーションを追求し、
いつの時代のどのような状況であっても、
人々の相互理解が深まることを目指して
地球と共生しながらPurposeを実現していきます。

NEC Way



NEC Wayは、NECグループが共通で
持つ価値観であり行動の原点です。

会社としての姿勢

Purpose 存在意義

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる
持続可能な社会の実現を目指します。

Principles 行動原則

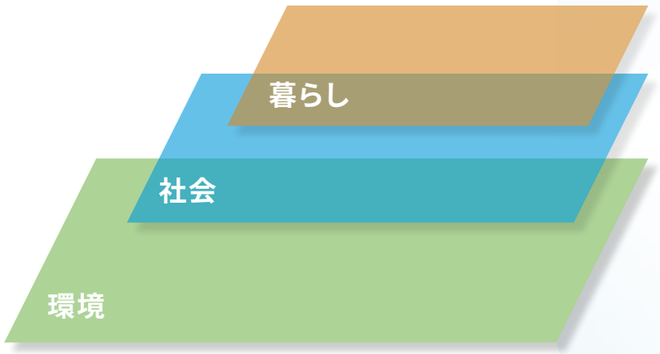
創業の精神「ベタープロダクツ・ベターサービス」
常にゆるぎないインテグリティと人権の尊重
あくなきイノベーションの追求

良き企業人としての姿勢

Code of Values 行動基準
Code of Conduct 行動規範

NEC 2030VISION

地球温暖化や自然破壊などの地球環境問題、
水や食糧の不足、エネルギー問題、世界における貧困 ...。
私たちが目指す社会を実現するための道筋には、
様々な世界規模の課題が立ちふさがっています。
社会の変化が急速に進む時代においてPurposeを
具現化するために、NECの進む道筋や事業の方向性を
可視化したものがNEC 2030VISIONです。



変化する生活者の欲求

生活者の欲求が顕在化する場を3層に大別しています。
人や生物が地球上で生きていくうえでの土台である「環境」
都市や仕事、それらをつなぐコミュニケーションの拠点といった
社会全体を支える基盤としての「社会」
快適な暮らしや生活者一人ひとりの日常の営みを支えて、
より良いものにしていく「暮らし」
これらを価値創出の起点としています。

暮らし

人に寄り添い心躍る暮らしを支える

- Well-being心身の良好な状態
- 生活習慣の改善
- 自由で開かれた学びの機会

社会

個人と社会が調和し豊かな街を育む
とまらない社会を築き産業と仕事のカタチを創る
時空間や世代を超えて共感を生む

- 街のデータ活用を民主化
- 渋滞/事故のない都市
- データ民主化による社会安定
- 生活者目線の行政サービス
- 就労機会の格差解消
- 自由で平等な通信サービス
- 安全/安心なサイバー空間

環境

地球と共生して未来を守る

- 脱炭素社会
- 地球温暖化対策の実施
- 水・食の安全

NECのSDGsへの取り組み

NECは、2005年に社会と企業のサステナブルな成長を目指す世界的な取り組み（イニシアティブ）である「国連グローバル・コンパクト」に署名し、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則をふまえた企業活動を推進しています。その企業としての行動原則を、NEC WayにおけるPrinciplesの「常にゆるぎないインテグリティと人権の尊重」で示すとともに、役員から従業員に至るまでの一人ひとりがNECグループ行動規範（Code of Conduct）に基づいた行動を日々実践しています。

更に、これら10原則に基づいて達成を目指す、持続可能な開発目標SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」と、Purposeで謳う「誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指す」とは方向性を同じくしています。

ICTには様々な課題に対応できるポテンシャルがあります。生体認証、AI、5Gといった先端技術を活かしたNECのR&D力、実装力を強みに、NECは、お客様をはじめとする多様なステークホルダーとの対話・共創を通し、SDGsの達成に貢献できると考えています。

NEC 2030VISION貢献領域（2021年度～）

NEC 2030VISIONの実現に向け取り組むことで、特に達成に貢献できると考えているSDGs目標は次の通りです。NECでは、SDGsから社会課題への気づきのヒントを得るとともに、SDGsに照らし、事業により創出を目指す社会価値の目標設定や進捗管理を行っていきます。

	1 貧困	2 飢餓	3 健康福祉	4 教育	5 ジェンダー平等	6 水と衛生	7 エネルギー	8 雇用	9 インフラ構築	10 不平等	11 都市	12 生産消費	13 気候変動	14 海洋	15 陸	16 平和公正	17 パートナーシップ
地球と共生して未来を守る	●	●				●	●		●			●	●				●
個人と社会が調和し豊かな街を育む									●		●		●				●
とまらない社会を築き産業と仕事のカタチを創る								●	●	●	●					●	●
時空間や世代を超えて共感を生む								●	●	●			●				●
人に寄り添い心躍る暮らしを支える			●	●					●							●	●

目次

カバーストーリー

NECの過去・未来・現在

06 社長メッセージ
14 NEC価値創造の軌跡
16 What is NEC

NECのビジネスモデル

18 価値創造プロセス
20 2020中期経営計画の振り返り
22 2025中期経営計画
30 CFOメッセージ
34 R&Dと事業開発
38 座談会：社会価値創造に向けたNECのR&D
40 挑戦する人の、NEC。
43 CHROメッセージ
44 社員メッセージ
46 地球と共生して未来を守る
50 主要事業一覧
52 事業紹介

企業価値創造を支えるマネジメント

58 リスクと機会
60 人権の尊重
62 サプライチェーンサステナビリティ
64 コーポレート・ガバナンス
69 社外取締役メッセージ
70 取締役および監査役
72 全社横断視点の戦略推進体制

コーポレート・データ

74 財務・非財務ハイライト
76 会社概要

編集方針

当社は、2013年より財務・非財務情報を統合したアニュアル・レポートを発行し、2018年からはマテリアリティの特定を機に、「統合レポート」として発行しています。

統合レポート2021は、NECのPurposeを軸に、NEC 2030VISIONと2025中期経営計画の実現に向けた取り組みを掲載しています。また、非常に注目度の高い人材については、文化と併せNECの魅力ある人材にも焦点をあてて編集しています。

社長メッセージでは、NEC WayとNEC 2030VISIONに込めた想いを、2025中期経営計画では戦略と文化の両面から解説しています。また、Purpose経営推進の原動力となる「人」に焦点をあて、若手研究者による座談会や、現場の第一線で活躍し価値創造に取り組む社員のメッセージを掲載しています。更に、企業価値創造を支えるマネジメントについてESG視点の経営優先テーマ「マテリアリティ」を中心にまとめています。

当社は今後も、様々なステークホルダーの意見を取り入れながら、より分かりやすく継続的な情報発信に努めていきます。

報告対象期間

2020年4月1日～2021年3月31日（当年度）
※ 対象期間後の情報も含みます。

報告対象範囲

日本電気株式会社および連結子会社

参考としたガイドライン

- ISO26000
- GRIスタンダード
- 国連グローバル・コンパクト
- 国際統合報告フレームワーク（IIRC）
- 価値協創ガイダンス

国連グローバル・コンパクトの原則の実践状況および国連の様々な目標の支持について、このコミュニケーション・オン・プログレスを通じて報告しています。
内容に関するご感想・ご意見を歓迎します。

NECは、国連グローバル・コンパクトに署名しています。

Environment Social Governance
価値協創ガイダンス

関連する他の情報発信

- 決算短信／有価証券報告書
- コーポレート・ガバナンス報告書
- サステナビリティレポート
- 情報セキュリティ報告書